



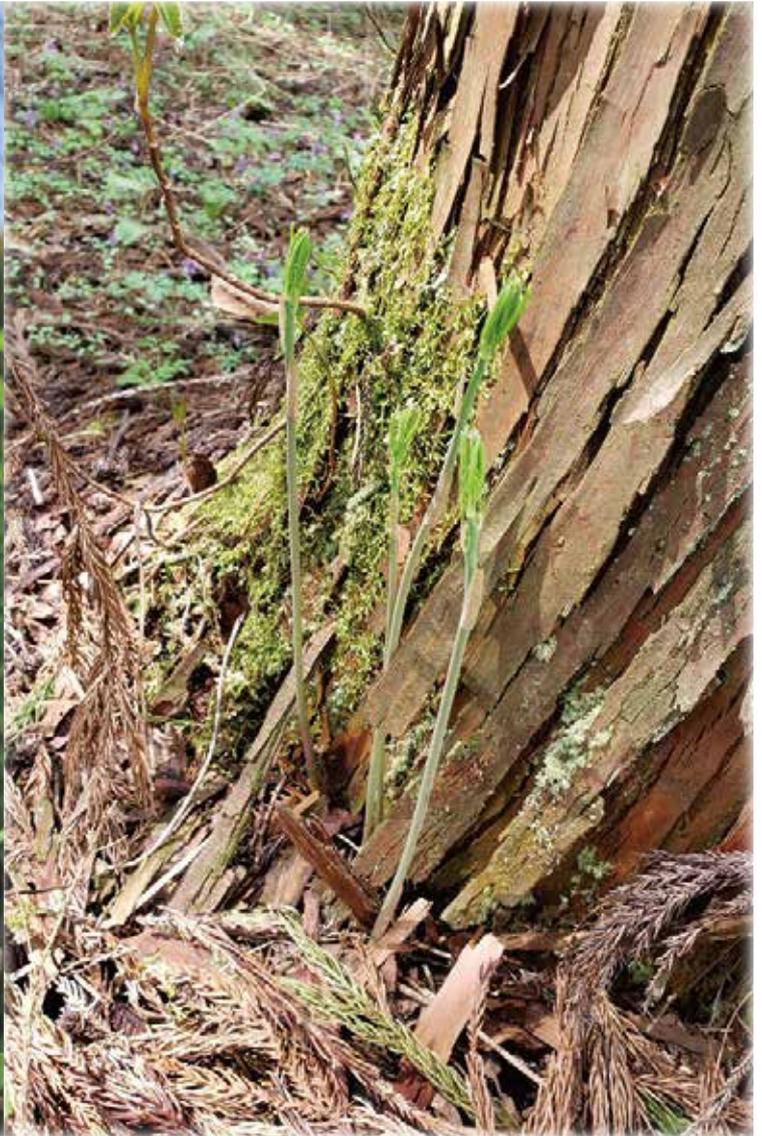
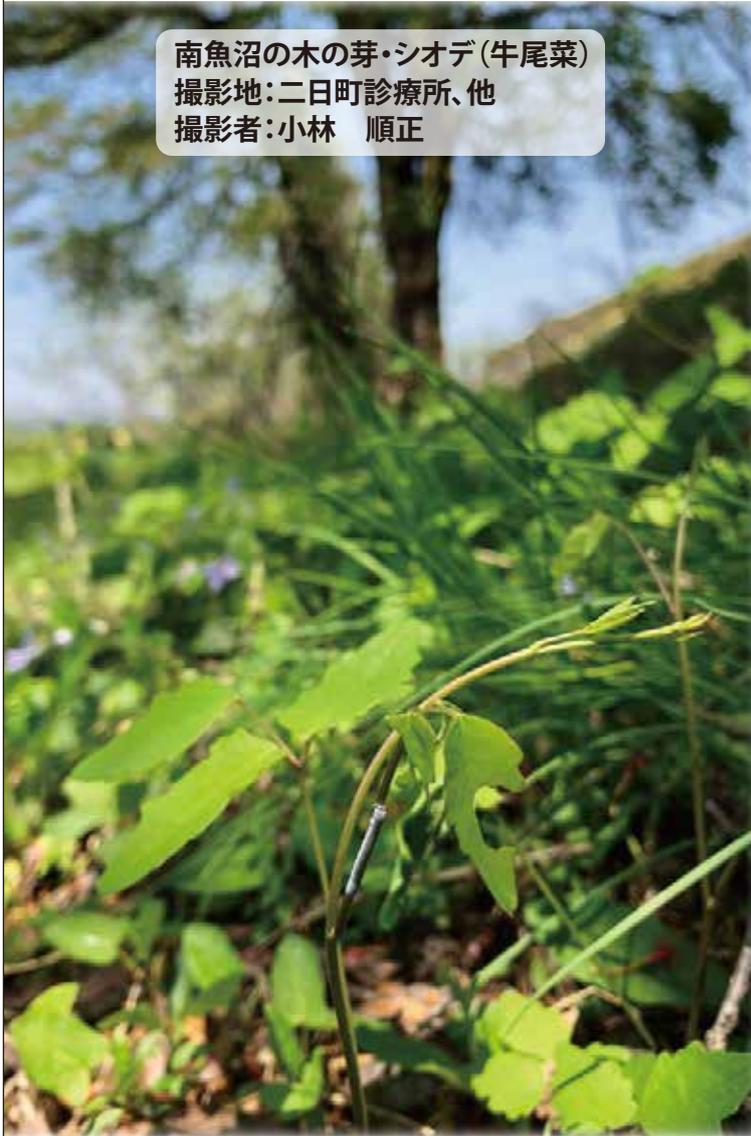
医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

5
Vol 360
2022/5.15

しんぎ

ホロヨリ さん書

南魚沼の木の芽・シオデ(牛尾菜)
撮影地: 二日町診療所、他
撮影者: 小林 順正

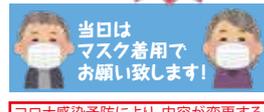


さくり温泉 春の感謝祭

5月29日(日) 10時~14時
回数券特売 1シート6回券 → **1,800円** (税込み)
2,300円 (税込み)



予約受付中
・前金にて承ります。
・引換えは5月30日~6月末まで回数券と交換致します。



さくり温泉健康館 025-774-2802

新型コロナ 一現状一(皆川院長) 2
こども元気食堂/皆様に支えられ、萌気会30周年 3
黒岩卓夫一代記 4
萌気園二日町診療所“リハビリテーション”のご紹介 5
新潟いのちの物語をつむぐ会 第8回例会
萌気園二日町診療所 日曜日診療休止のお知らせ
安心コラム 6
テイクアウトおやつ/曼陀羅華 ミニ喫茶店
たもんの郷 お花見お茶会 7
ふみ/うちの利用者さん/事業所紹介 8

コロナ感染予防により、内容が変更する場合があります。



新型コロナ - 現状 -

萌気園二日町診療所 院長
皆川 秀夫



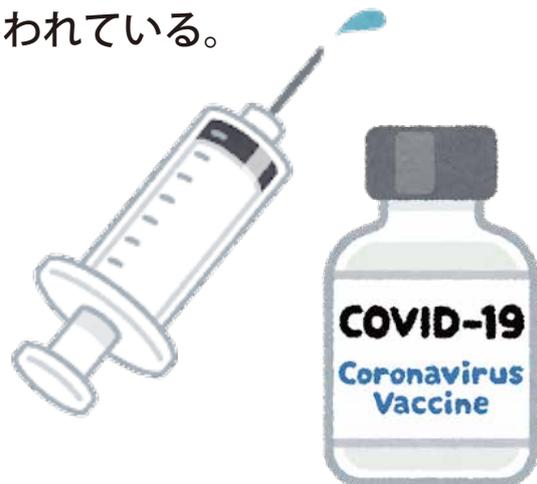
本州で一番遅かった桜開花も終わり葉桜となった今日この頃です。例年より多かった積雪が早めに消え、田植えの準備が始まっている。診療所には新型コロナ感染症疑いで検査に訪れる患者が多数。それと新型コロナワクチン接種に訪れる患者も多数。一般診察も多数で毎日混雑、混乱をきわめている。

新型コロナ感染は1月初めから第6波の流行で全国の感染者は2月初めにピーク時で1日10万人、その後は漸減であったが、現在4月末で1日4~5万人の発生で高止まり状態が続く。東京都もピークは同時期で1日2万人以上、その後は漸減で現在1日6~8千人で高止まり状態、関東各県も同様の経過で推移している。これと逆に新潟、長野他周辺の県では初期は発生は少なかったが4月中旬のピーク時にはこれまでの最多数を更新し続け、その後も高止まり状態が続いている。

第6波の流行はオミクロン株が主体であるが最近この亜種のBA.2も出現、増加中という。さらに感染性も高いといわれている。第6波流行が高止まりなのはこのためか。今後連休をひかえて再流行も懸念される。政府も不足していたコロナ抗原検査キットを大量に輸入。各ターミナル駅、空港等で無料検査が受けられるようだ。PCR検査は症状が出た

時点でほぼ確実に診断できるが、抗原定性検査はかかっても陽性率は7割にとどまる。第6波の流行では幼児保育施設、学校での発生が目立つ。さらに家族内感染、職場での拡大がみられる。感染は若い人が中心となる。症状は軽度の発熱、咽頭痛、頭痛等があるが高齢者、基礎疾患を有する者では悪化する例もみられる。軽い症状で済む者も多いが、ある検査では4人に1人は何らかの後遺障害が残ると。長引く倦怠感、疲労感、動悸、息切れ、下痢、不眠、頭痛、抗うつ状態、記憶集中力障害、脱毛等が記録された。

政府も高齢者を中心に4回目のワクチン接種を決めた。現状では2回終了者は対象の80%、3回目終了者は51%であるが若い人に限ると30%位の接種率で副反応を嫌って受けない例が多いといわれている。これに対し3月から始まった5~11才児への接種は1回目が12.6%、2回終了が7.6%であり、副反応は少ないといわれている。



こども元気食堂

高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展実行委員 田中 伊織

四月二十三日(土)に第三回目の地域支援イベント「こども元気食堂」と「みんなの冷蔵庫」による食糧支援活動を行いました。今回は前回の倍(100)食の手作りカレー&パンナコッタ・もち豚焼肉(やまちくシヨップ)・ピザ(ホテル坂戸城)を準備し、食糧支援も野菜・米・飲料・お菓子等：昨年開催した高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展での寄付金及び南魚沼市社会協議会様、萌気会職員、地域住民の方々からの食糧材料支援により提供することができました。

少しづつではありますが活動も広まり、当日は親子連れや近隣の住民で賑わいました。また何より嬉しいのは、ボランティアの方々が増えて来ていることです。ご高齢の方から、高校生・小学生、また「みんなの冷蔵庫」をご利用いただいている方々からお手伝いいただいています。

私共が目指す「多世代交流拠点としてのこども元気食堂」、「みんなの冷蔵庫」を通じて住民が連携し「地域の中での困りごと」に気づく体制「作り」に共感していただき、一歩一歩実現に近づいて来ていることを実感できました。

コロナ禍での活動制限が多く、思うようにこ



*【みんなの冷蔵庫】は必要な食料や日用品を自由に受け取れる仕組みです。普光寺権澤賢正住職のご厚意により、普光寺社務所玄関先に一台設置させていただきました。

ども元気食堂」を開催することが出来ません。「居場所」は提供できなくても常日頃からのつながりを活かし、食料やお弁当等を配布する「フードパントリー」の開催等・・・新しい方法によつて食を通じた活動を行っていきたくと考えています。

今回も、もち豚「やまちくシヨップ」社長・山田様、桐生工業株式会社営業部長・白川様にお手伝いいただきました。また、同法人以外の方々からもお手伝いいただき、報告したことを感謝し、報告させていただけます。また、「こども元気食堂」を通じ多くの方々や未来を作る社会活動に参加できる場所を提供していただいている浦佐毘沙門堂「普光寺」住職・権澤様、社務所の皆様に心より感謝申し上げます。

【みんなの冷蔵庫】からのお願い

最近、冷蔵庫に保管された食料が翌日には全てなくなっているという事態が起こっています。

ご利用いただいている方々から、**何時行っても何も無い**という問い合わせをいただいています。

このような事態が続くと【みんなの冷蔵庫】の活動を中止せざるを得ません。

今後も【みんなの冷蔵庫】を継続して行くために、多くの方へ食料品が行き届くよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

*入荷情報はSNSで発信させていただいております。

是非、ご確認のうえ【みんなの冷蔵庫】をご利用ください。



皆さまに支えられ、萌気会30周年

1992年6月、黒岩卓夫(現萌気会会長)が、浦佐本町商店街に小さな診療所を開いてから、30年が経ちました。長い間、地域の医療と介護、生活に関わり続けてこられたのは、皆さまに支えていただいたからに他なりません。萌気会は、これからも地域の皆様の役に立つ存在であり続けます。

萌気30周年記念事業委員長 島村 康夫



開設間もない頃の浦佐診療所外観と訪問看護師たち



当時の訪問診療の一コマ

第19話
往診2

「老衰で死を待つ
よしのさん 87歳」



今日は本家の
とっちゃんに来て
もらったすけ、ばさも
そろそろでねえかと、
よんべなもかかと
話してたことだて



ばあちゃんも、
ここ3日ぐれ
水だけしか飲まん
ねで、まんま
食わんなく
なつたすけ



おらも昨日は
かかと、新宅の
ばあこのとこ姿も
見ねえし気もんでた
ことだて



まんま食わんねと
なれば、1週間ぐれ
だらうかの？
おれもそう思っ
そろそろ医者どん
に診てもらった方が
いいんでねか

なんか診療所に
来た若げえ先生は、
気軽に往診して
くれるらしいねか



先生、往診ですが、
高齢でそろそろ
あぶないとのことだす
じゃあ午後の往診、
早めに行きつ
ぐくなる前に



先生、狭い部屋で
申し訳ね
今年は寝たり起き
たりしていても
この3〜4日は
急に弱ってしまい、
まんまも食いたく
ねえみたいで



今血圧みたら、
上が90やつとです
普段は130位と言っ
てますが
そろそろね
でもまだ脈は
触れますね



ばさ、
先生が来て
くれなすつたぞ、
わかるかい？



先生！今おらん
ことす目開けて、
見てくれたこと
だて
ばあちゃん、
隣のせがれだぜ、
わかるかい？



いや、ありがて
ばさがよく世話ん
なつたしよが来て
くれてばさがまた
わかることだすけ
そだこてちちゃん
ばあちゃんの目
みればわかつてる
のよ
先生ありがと
ございまして
ささ、座敷でお茶
いっほいあがこて
くんねえか



先生はこんな風習は
しらんども、ばさが
まだわかるうちに米の
音を耳元で
聞かせるがだて



ばさ、米は
いっほあるすけ
心配したなや



よしのさんは、
皆枕元に集まってくれ
て、お米の音もじつかり
聞き取って、本当に
安心したんですね！
よいところを見せて
いただき、ありがとうございます

病院医療が農村の隅々まで蔓延するまでは、老人の看取りの時は家族や近所との交流で十分判断できた。本人も1週間位と悟ることもできた。おまけに“紙袋の米”がサラサラと心地よく心に響く事は安心そのものだった。事前に“医者どん”をあげたのは、死亡診断書が欲しいのであり、医療が欲しいわけではない。

萌気園二日町診療所 “リハビリテーション”のご紹介



萌気園二日町診療所の“リハビリテーション”は二本立て!
通いで受けられる 『通所リハビリテーション 曼陀羅華』
自宅で受けられる 『訪問リハビリテーション りらいふ』



そもそも在宅におけるリハビリって?

心身機能の低下や体力が低下された方が、住み慣れた場所で、その人らしく、身の回りの事や趣味、家事や仕事などの活動が行えるように、また、外出や地域活動への参加など、生活の場が広がっていけるように、利用者様と一緒に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がリハビリテーションサービスを提供します。

リハビリの専門職とは?

3つのリハビリ専門職

【理学療法】

- *歩行練習
- *補助具の検討
- *基本動作の獲得 等



【作業療法】

- *生活動作の獲得
- *認知機能や精神機能への支援



【言語療法】

- *発声・発音
- *飲み込み機能のリハビリ
- *言葉のリハビリ



『通所リハビリテーション 曼陀羅華』

- *1日利用型(7~8時間利用)
- *20分程度の個別対応リハビリ
- *集団リハビリ
- *介護職、看護職、リハビリ専門職により、利用者様一人ひとりに合わせた支援を実施しています。



『訪問リハビリテーション りらいふ』

- *20分~60分
- 利用者様に合わせた個別対応
- *必要に応じて、調理や散歩、買い物など活動範囲を広げて実施します。
- *介護・介助方法の検討・アドバイス



ご利用には**介護認定**が必要になります。

- *日常生活動作練習(歩行、食事動作や嚥下機能、トイレ動作や入浴動作など)
- *言葉の練習(発声・発音・会話など)
- コミュニケーション方法の検討・アドバイス
- *福祉機器・福祉用具・補装具の提案、適合評価
- *住宅改修の提案・アドバイス(手すり・段差解消)
- *ご自宅での運動についての提案・アドバイスなど



お問い合わせ
025-775-7740
二日町診療所
訪問リハビリ
りらいふ



新潟いのちの物語をつむぐ会 第八回例会

2022年7月3日(日)

14:00~16:30(13:30開場)

場所:普光寺

主催:医療法人社団萌気会

事務局:新潟県南魚沼市二日町205-6

TEL025-781-6155 FAX025-778-0080

テーマ:生と死、死の悲しみ、そして葬儀

提起者 榎本 宗俊(僧侶)

田宮 朋子(歌人)

萌気園二日町診療所 日曜日診療休止のお知らせ

萌気会理事長 黒岩 巖志

二日町診療所では、看護師および庶務員の不足により**2022年5月より日曜日**、および**12月31日、1月1日、1月2日**の内科の診療を一時休止させていただきます。**上記以外の祝日は診療致します。**

地域の皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

よろしく願います



内科 診療日

時間帯/曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝日
午前	○	○	○	○	○	○	×	○
午後	○	○	○	○	○	×	×	×

※日曜日、および12月31日、1月1日、1月2日の営業は休止します。

安心コラム ～「安心往診」から90歳の記憶の価値～

Tさん89歳(女)、脳出血後遺症、車椅子生活、食べる、しゃべるはできる、しかし発語はパターン化されて、「先生、会えてうれしい!」と挨拶程度しかできない。

しかし子どもの頃(水尾で)の思い出になればガラッと変わる。家族のことは実にリアルに情感込めて話してくれる。2才で実母と死別、8歳で継母が来、弟や妹が生まれる。その頃の自分の境遇、継母への気遣い、生まれた弟や妹への対応や役割を正確に説明できる。もっと勉強したかったが、我慢して自分の将来を考える。こちらがつい引き込まれ、「Tさんそしてどうしたの?」と思わず質問するほど。

近所にTさんより4-5歳下の男の子がおり、「頭がよくて生意気だったけど可愛かったよ」と。この男の子が実は私と同じ年で、尊敬する医師で生きた証人になってくれた。

私はTさんの記憶の世界に入り込めば、Tさんの友達になれることもわかった。

認知症(混合性)の一言で、片付けることの無謀さを改めて感得した。記憶の世界で元気になり、その体験は伝える価値をもっていることを大切にしたいと思う。

Dr. T. Kuroiwa





萌気園通所リハビリセンター浦佐



5月2日に今年度初のテイクアウトおやつイベントを開催しました。今回は魚沼市堀之内にあるYOSHIDAYA(吉田屋)さんをお願いして皆さんでケーキを頂きました。利用者さんの中で一番人気は苺のショートケーキでした。利用者さんからは「普段食べることがないからよかった。」「週2回あってもいいな」「今日は最高だ!」との声が聞かれました。もともと美味しいケーキですが、みんなで食べるとまた格別です。リハビリセンターでは今年度テイクアウトランチ・おやつ・他イベントを多く企画中です。乞う御期待ください!



萌気園二日町診療所 曼陀羅華

4月13日は喫茶店の日ということで、曼陀羅華ではご利用者さんに喫茶店に行った気分を味わってもらうとおやつの時間にミニ喫茶店を開店!

喫茶店と言えば定番のオレンジジュースとメロンソーダを皆さまに選んでいただき、おいしいおいしい曼陀羅華特製ロールケーキを召し上がっていただきました。



小規模多機能居宅介護 たもんの郷



たもんの郷では、春の季節感を目と舌で味わっていただくということで、お花見お茶会を行いました。お茶のお供には、苺、つぶあん、ホイップクリームでトッピングした、たもんの郷特製パンケーキでおもてなし。卵が食べられない方にはクラッカーをご用意しました。皆さん大喜びのご様子で、美味しく召し上がっていました。ご近所さんの桜吹雪がとても綺麗で素敵でした。



ふみ



ご自宅近くの農道を散歩

今年93才になります。
畑、山菜取りが大好きな人です。

85才位まで車の運転をしていて、前に住んでいた泉田まで畑をしたり連れと山に行ったりと楽しんでいました。

足腰は弱くなりましたがとても健康で、自分のことは自分でできるので助かっています。

天気の良い日は、休み休み近所を散歩しながら、「あの山にはワラビが出る」などと言いなながら景色をながめています。

ひ孫(2才)に昔の歌を歌って聞かせたり、おどりをおどったりと楽しんでます。たまに「あんぱんまんの歌をうたって」と言われてるようです。

車の運転をしなくなつてからは、お茶飲みをする友達もいなくなり少し心配していましたが、こちらの「地蔵の湯」さんを利用するようになってから、帰つて来ると1日の流れを話してくれたり、また「お風呂が最高だ」とも。

こたつに入りながら話をしたり、昼寝をしたりと楽しそうです。

これからもケガをせず、健康でいてほしいです。

〈萌気園大和通所介護「地蔵の湯」

櫻井 カウ様ご家族〉

うちの利用者さん

萌気園通所リハビリセンター浦佐

通所リハビリセンター浦佐では、自分の目標に向かってリハビリに励んでいる利用者の方が多くいらっしゃいます。その中でも特に頑張っている清水ヨネさん! 帰る時間ギリギリまでリハビリに励んでいます。いつも「やるぞー」という気合いがにじみ出ています。このエネルギーの源は何なのか? 清水さんに聞いてみました。それは、「車を運転して、近場でいいのでグルグルまわりたい」「ゴルフをまたやりたい」という強い希望でした。1度は諦めた運転。再び免許を取得するため、筆記試験の勉強を頑張っています。私達職員は『あなたの笑顔とその1歩を応援します!』

◆ヨネさんから皆さんへ言いたい!◆

「リハビリは楽しいよ〜」「リハビリはウソつかないよ〜」



清水 ヨネさん 75歳

平成31年脳出血を患い、右片麻痺となる。お茶飲みが好き。普段より電車で出かけたリ、友人と車で出かけたリすることが多い。週末にはプールに行き、水泳や水中歩行訓練に励む。

編集後記



美しい桜が咲きようやく南魚沼の地に春の訪れを感じたかと思ったら、初夏を彷彿とさせる暑さを感じ、あっという間に桜も葉桜になってしまいました。

全国的には新型コロナウイルスの脅威は治まりをみせてはきているものの、新潟県、そして南魚沼では依然感染者が横ばい、むしろ増加傾向にあるのではとと思われる人数の感染者が連日報告されています。

萌気園二日町診療所「曼陀羅華」 石沢 知美

萌気会全体ではクラスターは発生していませんが、患者さんや利用者さんならびにそのご家族がコロナに罹ってしまったという話を耳にすると心が痛む毎日です。

今年は萌気会30周年の節目の年。萌気会職員はもちろん萌気会に関わる全ての人々が笑顔で30周年を祝えるよう、コロナの終息を願うばかりです。